

◎ ジェンダー・スタディーズプログラム

■ 概要

文化的・社会的に成立した、あるいは、強制された性別の概念をジェンダーと捉え、それが私たちの思考や行動にどのような影響を与えているかを考察していく。特に現代のグローバル社会において、顕在的・潜在的にジェンダー概念に起因する諸問題を扱い、総合的な視野を広げていく。性別二元論が歴史的に形成された過程を批判的に検証することにより、ジェンダー観が可変的であることを理解し、ジェンダーとジェンダー・アイデンティティの多様性を思考することができる柔軟な態度を養成する。

■ 修了条件

指定科目18単位をすべて修得すること。

■ 指定科目一覧

	開設部門	科目名	配当年次	単位数	備考
指定科目	全学共通科目	ジェンダーと文化 1	1～4	2	複数回履修不可
		ジェンダーと文化 2	1～4	2	複数回履修不可
	ドイツ語圏文化学科	ジェンダーと言語	2～4	2	複数回履修不可
		ジェンダーと表象文化	2～4	2	複数回履修不可
		ジェンダーと現代社会	2～4	2	複数回履修不可
		ジェンダー・スタディーズ演習（基礎）(1)	3～4	2	注)
		ジェンダー・スタディーズ演習（基礎）(2)	3～4	2	注)
		ジェンダー・スタディーズ演習（発展）(1)	4	2	注)
		ジェンダー・スタディーズ演習（発展）(2)	4	2	注)

注)「ジェンダー・スタディーズ演習（基礎）」「ジェンダー・スタディーズ演習（発展）」はドイツ語圏文化学科専門科目であるが、履修する学生の所属により、卒業単位への算入については以下のとおり取り扱われる。

- ドイツ語圏文化学科以外の文学部〔各学科〕所属の学生：文学部他学科専門科目
- 文学部以外の学部所属の学生：他学部他学科専門科目
- 文学部ドイツ語圏文化学科所属の学生：随意科目（卒業要件には算入されないので注意すること）

※標準履修モデル

1 年次：「ジェンダーと文化 1・2」

2 年次：「ジェンダーと言語」「ジェンダーと表象文化」「ジェンダーと現代社会」

3 年次：「ジェンダー・スタディーズ演習（基礎）(1)」「ジェンダー・スタディーズ演習（基礎）(2)」

4 年次：「ジェンダー・スタディーズ演習（発展）(1)」「ジェンダー・スタディーズ演習（発展）(2)」

※プログラムの最終論文を執筆